

# 新春を寿ぐ昼食会

主催：佐鳴台地区社会福祉協議会

令和 7.1.26

佐鳴台地区の75歳以上のひとり暮らしの方を昼食会にお招きし、自治会長、民生児童委員、ボランティアの方々と一っしょの昼食会の後、マジックショーを楽しみました。



## 会長挨拶



## 自治会長、民生委員紹介



# 浜松市社協職員の能登半島地震災害ボランティアセンター活動報告



## 1.はじめに

令和6年1月1日16時過ぎに発生した石川県能登地方を震源とする地震により、石川県内で最大震度7が観測されました。

石川県をはじめとする北陸地方で多くの被害が生じました。

1月29日7時00分現在、人的被害1,523名（死者236名、負傷者1,287名）、住宅被害19,286棟（全壊122棟、半壊1,900棟、床上浸水6棟、床下浸水19棟、一部破損17,239棟）が報告されました。

中能登町でも多くの被害があり、災害ボランティアセンターが立ち上がり、2/12~18までの間、現場で活動してきました。



## 2.中能登町の紹介

能登半島の手前に位置しています。

人口：15,442人  
世帯数：6,630世帯（令和6年2月1日時点）  
高齢化率：37.2%（令和2年時点）  
面積：89.45km<sup>2</sup>  
山に囲まれ、多くの田畑がある印象を受けました。

## 3.中能登町の被害

中能登町でも震度6弱の揺れを観測。

今も町内に避難所が開設されており、全壊や半壊の被害を受けた家も多くありました。

中能登町でも復興に向け1月下旬から災害ボランティアセンターが立ち上げられ、災害の影響を受けた家庭の災害廃棄物の運び出しや倒れた家財の手伝い、廃棄物の仕分けなどの困りごとが寄せられています。

## 4.災害時の社協の取り組み

【ボランティア活動支援】

大規模な台風等による風水害や地震、津波などの発災時には、被災地ではボランティアによる支援活動が大きな力を発揮しています。

社会福祉協議会では、平時からボランティア・市民活動の振興や支援を行い、大規模な災害発生時には災害ボランティアセンターを開設し、被災地の支援ニーズの把握・整理とともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動を行っています。

## 6.活動報告

現地では災害ボランティアセンターの運営スタッフとして活動をしました。

主にローラー班を担当し、災害ボランティアセンターのチラシを一軒ずつ訪問し、ボラセンの周知とお困りごとがないか聞いて回りました。

ローラー班では2月上旬時点で寄せられたニーズが多い地区から順に周り、地元社協と連携し、ローラーに入る地区を選定します。

中には地元の自治会長や民生委員も一緒に訪問して下さいました。

## 災害ボランティアセンターチラシ

**ご相談 受付中**  
お困りごとはありませんか？  
中継室町災害ボランティアセンターにご連絡ください！  
随時でお手助けいたします！

2月29日まで  
お困りごとはありませんか？  
災害ボランティアの依頼は  
3月10日(日)までです  
お早めにご連絡ください！

中継室町災害ボランティアセンター  
〒980-8878 中継室町 中継室 080-6878-9775  
中継室町災害ボランティアセンター  
〒980-8878 中継室 中継室 080-6878-9775

## 7.現地での活動から

主にローラー班で活動を行い、実際に地域のご家庭を1軒ずつ訪問し、現地の人たちとコミュニケーションを取る機会が多くなりました。

中には自治会長、民生委員と一緒に活動することもあり、改めて普段の見守りや声かけ、近所づきあいの重要性を感じました。

ある自治会長は、発災当時町内全ての家を周り、安否確認をしたそうです。(40世帯程度の自治会)

## 8.最後に

1週間現地で活動をし、色々なことを経験しました。

その中で最も重要に思ったこととして、地域のつながりの強さを感じました。それは今回のような災害時に特に活かされていることを痛感しますが、普段の生活から必要な事だと思います。

今も孤独死や社会的孤立などの問題が聞かれますが、地域の見守りがあることで、それらを防ぐことにつながると思います。

市社協としても、地域の皆さんと一緒に普段の生活、そして災害時に通じる地域のつながり・地域活動について一緒に考えていきたいと思います！

## 昼食会



マジックショー

